

評価項目一覧

評価項目	評価の観点	配点	基礎点	加点	評価点	必須
1. 実施計画および内容						
業務実施の基本方針の 的確性	・ 入札説明書記載の業務内容について全て提案 されているか。	15	10	—		○
	・ 調査手法に工夫やリスク検討がなされている か。		—	5		
業務実施方法の実現 性、明確性 (海洋環境調査)	・ 業務実施の方法が明確に示されているか。 ・ 十分な資機材を有し、高い実現性を有してい るか ・ pCO ₂ の測定精度は適当か。	15	10	—		○
	・ 仕様書の内容を遂行する上で、独自の技術提 案があるか。		—	5		
業務実施方法の実現 性、明確性 (海洋汚染防止法対応 に係る支援)	・ 業務実施の方法が明確に示されているか。	15	—	5		
	・ 海洋汚染防止法についての理解に不足はない か。		—	5		
	・ 仕様書の内容を遂行する上で、独自の技術提 案などがあるか。		—	5		
2. 業務スケジュール						
業務実施計画の妥当性	・ 実施計画、日程に無理がないか。 ・ 採水の実施から水質分析の結果が判明するま での所要時間は適当か。	15	5	—		○
	・ 合理的な業務実施計画により的確に短期間で、 高い成果を提供できるものになっているか。		—	5		
	・ 追加調査の必要が生じた場合に、直ちに実施 できる体制が示されているか。 ・ 調査の実施までの所要時間は適当か。		5	—		

3. 業務実施能力・業務実施体制						
組織としての業務実施能力	<ul style="list-style-type: none"> ・海洋環境調査に広範な知見・技術を有しているか。 ・海洋の酸性化に広範な知見を有しているか。 ・実施体制は、十分であるか。 ・組織の経営資源は問題ないか。 	10	5	—		○
	<ul style="list-style-type: none"> ・優れた情報収集能力を持っているか。 ・業務を円滑に実施するために必要な資金などに関して十分な管理能力を有しているか。 		—	5		
業務実施にあたってのバックアップ体制	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の実施が困難になったときの人的補助体制があるか。 ・業務を管理する管理者の経験・知識は十分か。 	5	—	5		
4. 実績						
関連業務の経験・実績	・過去に同様な調査を実施した豊富な実績を有しているか。	15	—	5		
	・過去に北海道胆振地方で同様な調査を実施した豊富な実績を有しているか。		—	5		
	・過去に同様な業務支援を実施した豊富な実績を有しているか。		—	5		
業務に関する専門的知識・知見など	<ul style="list-style-type: none"> ・業務内容全体に関し、十分な知識・知見を有しているか。 ・業務に内容に関する法的対応（許認可・申請など）の知識を持っているか。 ・業務内容に関する人的ネットワークを持っているか。 	5	—	5		
従事者の業務歴・資格	<ul style="list-style-type: none"> ・従事者は、業務を実施する上で十分な技術力・資格などを有しているか。 ・豊富な経験、高い技術力を有した要員を多数有しているか。 	5	—	5		
合計		100	35	65		

* 提案書の評価点の最高配点を 100 点とし、評価点を与える各項目についての配点基準によって配点を行い、合計の技術点を得点とする。

- * 各項目の配点は、満点の場合、各項目に記載している点数となり、全く対応できていない項目の場合は、0点が配点となる。
- * 必須項目の要求が満たされない場合、その提案書は不合格とする。
- * 価格点は、入札による評価の最高配点を50点とする。